

何十年にもわたり安全に消費されているにも関わらず、遺伝子組換え（GM）作物の規制認可のためのデータ要求事項は、世界各国で一貫性がありません。

今こそ、GM作物の認可を合理的で科学的根拠に基づいたアプローチに統一する時です。

世界的な成功事例



25年以上にわたり、GM作物は世界中で安全に栽培されてきました。*



1860億ドル

21年間で、GM作物は世界経済に1860億米ドルもの利益をもたらしました。*

1996年以降、世界のGM品種の栽培面積は

113倍以上

に増加しました*



3500

3500件以上の食品/飼料の安全性評価が行われ、食品/飼料の安全性に基づく拒否は1件もありません。*

持続可能な能力

271億kg削減



GM植物の商品化により、2016年にはCO2排出量が271億kg削減されました。これは、年間1,670万台の自動車を廃車することに相当します。**

世界的な一貫性の欠如がもたらすもの

農家や消費者にとって

選択肢の減少



貿易の混乱

および上市の遅れ



コストの増加



大きな可能性

明確に定義された、一貫性のある、科学的根拠に基づく評価方法によってもたらされるものとしては、

- より大きな技術革新
 - 有益なGM作物や形質の商品化を促進
 - より効率的な認可のための世界的な審査プロセスの合理化
- があります。

2018~2022年の間にGM

植物の認可がよりタイムリーに得られれば、主要輸出国における生産量の増加額は**



トウモロコシでは

43億米ドル

ダイズでは

49億米ドル



今こそ新たなアプローチを

GM作物のための安全性評価はリスクの特性評価に焦点を当てるべきです。



新たな
アプローチは
このようなものです



中核的試験

によってGM作物の安全性を評価します。



補足試験

は特定のケースにおいて行われます。



補足試験

は作物や導入形質、使用目的に応じて設計されるべきです。

*ISAAA (国際アグリバイオ事業団). (2017). 2017年における商業化されたバイオテクノロジー/GM作物の世界的状況: 22年間蓄積された経済効果としてバイオテクノロジー作物の利用が急増 ISAAA 要旨 (Vol. 53). ISAAA: イサカ、ニューヨークISAAA (国際アグリバイオ事業団). (2018). 2018年における商業化されたバイオテクノロジー/GM作物の世界的状況: 人口増加と気候変動の課題への対応への支援となり続けているバイオテクノロジー作物ISAAA 要旨 (Vol. 54). ISAAA: イサカ、ニューヨーク

** Informa. (2018). 中国におけるバイオテクノロジー作物の承認遅延の影響。インフォーマ農業コンサルティンググループ報告書